

# 基本目標 「地域にも観光客にもあたたかい、さとやま民泊

## 基本方針1 地域人材の育成と主体的活動への支援・連携

- ◇さとやま民泊のコンテンツ提供者、地域の旅行会社、受入地域住民が主体的に活動できるよう地域への支援を行います
- ◇R3年には、地域事業者が中心に情報発信など事務局業を行うことができるよう常に地域の主体性を意識した支援を行います

### 目標指標1-1 さとやま民泊コンテンツ提供事業者数（宿泊、体験、食事）

コンテンツ提供事業者数 (泊まる、遊ぶ、食べる、買う) (件/年)	計画修正時点 (R2年)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標	目標	目標	目標
	53	未設定	45	55	58

### 目標指標1-2 東部地域ポータルサイト「ならのはる」閲覧件数

「ならのはる」閲覧数 (件/月)	計画修正時点 (R2年)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標	目標	目標	目標
	4,566	未設定	1,050	4,600	4,750

## 基本方針2 都市部住民、国内外観光客との交流促進

- ◇さとやま民泊を通じて、都市部住民・国内外の観光客の東部地域での交流、滞在を促進させます
- ◇交流によって、地域の食文化の継承や地域産農産物の消費拡大を促進させます

### 目標指標2 連携協定先による誘客数（ツアー以外に宿泊、体験、食事のみの利用者も含む）

連携協定先による誘客数 (人/年)	計画修正時点 (R2年)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標	目標	目標	目標
	93	未設定	20	100	180

## 基本方針3 農村地域の持続可能性

- ◇各地区の課題に沿った「さとやま民泊」を支援します
- ◇地域住民だけでなく、奈良市全体として農村地域のもつ多面的機能への理解を促進させ、農村地域の持続可能性について検討します

### 目標指標3 地区ごとの課題反映

- (例)
- ・公共交通（交通インフラ）の検討：デマンド交通やボランティア輸送、公共交通空白地有償運送など
  - ・空き家の利活用：空き家バンクへの積極的な登録推進や家主不在型の住宅宿泊事業（いわゆる不在型民泊）、お試し移住等
  - ・耕作放棄地の有効利用や鳥獣害対策、名勝指定月瀬梅林の保全、どぶろく特区の推進など

## H30年度施策

「さとやま民泊ページ」開設

体験コンテンツ登録促進  
・登録相談会の実施

情報発信強化  
・秘書広報課との連携事業

地域への情報提供  
・地区説明会の実施

## R1年度施策

東部地域ポータルサイト開設

体験コンテンツの充実  
・web対応  
・外国人対応  
・安全衛生講習

ホストの連携体制構築  
・連携ミーティングの実施

域外事業者、観光客へのPR  
・さとやま民泊ツアーの企画・実施

中心部宿泊所、交通機関への情報発信

広報ツールの作成

地区課題に沿った情報提供  
・空き家や耕作放棄地の利活用など

地区課題との連動  
・地区別ワークショップの開催

地区課題に沿った先進地視察  
・有害鳥獣対策  
・地域交通 etc.

## R2年度予定施策

## R3年度予定施策

地域事業者独立の検討

海外旅行者への情報発信  
・インバウンド向けBtoB商談会への出展

地域ビジネスの創出  
・廃校利活用、どぶろく特区の活用検討